

平成24年（行ウ）第117号 発電所運転停止命令義務付け請求事件

原告 134名

被告 国


参加人 関西電力株式会社

証拠説明書(22)

平成30年12月10日

大阪地方裁判所第2民事部合議2係 御中

被告訴訟代理人 竹野下 喜 彦 代
被告指定代理人 坂 本 康 博 代
櫻 野 一 穂 代
白 鳥 哲 治 代
益 子 元 暢 代
西 田 淳 二 代
細 川 全 代
船 城 織 映 代
松 山 明 子 代
加 藤 友 見 代

望 月 一 輝 代

水 野 健 太 代

福 島 貴 浩 代

松 岡 宏 代


信 藤 竜 治 代

玉 井 秀 幸 

内 藤 晋太郎 代

小 林 勝 代

榊 野 龍 太 代

鈴 木 莉恵子 代

治 健 太 代

岩 佐 一 志 代

大 城 朝 久 代

矢 野 諭 代

仲 村 淳 一 代

森 川 久 範 代

海 田 孝 明 代

熊 谷 和 宣 代

井 藤 志 暢 代

大 野 佳 史 代

種 田 浩 司 代

松 岡 賢 代

花 見 清太郎 代

小 野 祐 二 代

小山田 巧 代

川 崎 憲 二 代

中 川 淳 代

止 野 友 博 代

御器谷 俊 之 代

片 野 孝 幸 代

木 原 昌 二 代



岡 本 肇 代


建 部 恭 成 代

小 林 貴 明 代

柏 木 智 仁 代

村 上 玄 代

秋	本	泰	秀	 代
照	井	裕	之	 代
正	岡	秀	章	 代
関	根	将	史	 代
義	崎		健	 代
田	尻	知	之	 代
宮	本	健	治	 代
角	谷	愉	貴	 代
伊	藤	岳	広	 代
塚	部	暢	之	 代
白	井	暁	子	 代
薩	川	英	介	 代
西	崎	崇	徳	 代
山	田	創	平	 代
大	浅	田	薫	 代
冲	田	真	一	 代
岩	崎	拓	弥	 代
三	井	勝	仁	 代

佐藤秀幸 

永井悟 

佐藤雄一 

藤原弘成 

略語は準備書面の例による。

号 証	標 目 (作成者等)	原 ・ 写	作 成 年月日	立 証 趣 旨
乙第116号証	耐震指針検討分科会報告書 —耐震設計審査指針の改訂 に関する調査審議について — (原子力安全委員会原子力 安全基準・指針専門部会耐 震指針検討分科会)	写	H18. 5. 19	平成18年9月に改訂された 発電用原子炉施設に関する耐 震設計審査指針は、当時の地 質学、地形学、地震学、地盤 工学、建築工学及び機械工学 等の専門家らにより検討され たものであること
乙第117号証	地震・津波関連指針等検討 小委員会の設置について (原子力安全基準・指針專 門部会)	写	H23. 6. 22	福島第一原発事故の教訓を踏 まえた安全確保の対策の抜本 的な見直しに関する検討を行 うため、地震及び津波に関す る専門家17名を構成員とす る、地震・津波関連指針等検 討小委員会が設置されたこ と、同委員会において、平成 18年耐震指針及び関連指針 類を対象とした検討が行われ たこと
乙第118号証	安全審査指針類の検討につ いて (指示) (原子力安全委員会委員 長)	写	H23. 6. 16	原子力安全委員会委員長が、 原子力安全基準・指針専門部 会部会長に対し、①発電用軽 水型原子炉施設に関する安全

				設計審査指針（平成2年8月原子力安全委員会決定）及び関連の指針類に反映させるべき事項，②平成18年耐震指針及び関連の指針類に反映させるべき事項を，検討，報告するよう指示したこと
乙第119号証	原子力規制委員会ホームページ（地震等検討小委員会の開催一覧） （原子力規制委員会）	写	不明	地震等検討小委員会の会合の開催状況等
乙第120号証	地震・津波関連指針等検討小委員会における検討方針について（事務局案） （原子力安全委員会事務局）	写	H23. 7. 12	原子力安全委員会委員長の指示を受けた原子力安全基準・指針専門部会が発電用原子炉施設の安全確保策について検討したこと及びその検討内容
乙第121号証	地震・津波関連指針等検討小委員会における検討の整理（案） （原子力安全委員会事務局）	写	H24. 2. 29	地震等検討小委員会の検討内容等
乙第122号証	発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針及び関連の指針類に反映させるべき事項について（とりまと	写	H24. 3. 14	同上

	め) (原子力安全基準・指針専門部会 地震・津波関連指針等検討小委員会)			
乙第123号証	安全審査指針類の検討について(報告)(抜粋) (原子力安全基準・指針専門部会)	写	H24. 3. 22	地震等検討小委員会が、耐震指針の改定案や、耐震や耐津波に関する安全審査で用いるための審査の手引きの改訂案を取りまとめ、原子力安全基準・指針専門部会が、平成24年3月、これらの改定案を原子力安全委員会に対して報告したこと
乙第124号証	原子力規制委員会ホームページ(委員の紹介) (原子力規制委員会)	写	不明	島崎邦彦委員長代理(当時)の略歴
乙第125号証	原子力規制委員会ホームページ(地震等基準検討チームの会合の開催一覧) (原子力規制委員会) ※第1回会合から第11回会合までの名称は「発電用軽水型原子炉施設の地震・津波に関わる新安全設計基準に関する検討チーム」	写	不明	地震等基準検討チームの会合の開催状況

	第12回及び第13回の名称は「発電用軽水型原子炉施設の地震・津波に関する規制基準に関する検討チーム」			
乙第126号証 の1	議事次第（第1回会合） （地震等基準検討チーム）	写	H24. 11. 19	地震等基準検討チームの検討内容等
乙第126号証 の2	「発電用軽水型原子炉施設の地震・津波に関する新安全設計基準に関する検討チーム」について（案）（第1回会合配付資料「震基1-1」） （地震等基準検討チーム）	写	H24. 11. 19	地震等基準検討チームが、地震等検討小委員会が取りまとめた耐震指針等の改定案の安全設計方針の各要件について、必要な見直し等を行った上で基準骨子案の構成要素とする方針を示したこと等
乙第126号証 の3	国内外の地震・津波関係基準及び東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故を踏まえた各事故調等の主な指摘事項（耐震関係基準の内容に関するもの）（第1回会合配付資料「参考3」） （地震等基準検討チーム）	写	不明	地震等基準検討チームが、地震及び津波について、IAEA安全基準、アメリカ、フランス及びドイツの各規制内容等を整理し、平成18年耐震指針と比較した上で、我が国の規制として適切な内容を検討したこと等
乙第127号証	議事次第（第2回会合） （地震等基準検討チーム）	写	H24. 11. 27	地震等基準検討チームの検討内容
乙第128号証	議事次第（第3回会合）	写	H24. 12. 7	同上

	(地震等基準検討チーム)			
乙第129号証	議事次第 (第4回会合) (地震等基準検討チーム)	写	H24. 12. 17	同上
乙第130号証	議事次第 (第5回会合) (地震等基準検討チーム)	写	H24. 12. 27	同上
乙第131号証 の1	議事次第 (第6回会合) (地震等基準検討チーム)	写	H25. 1. 15	同上
乙第131号証 の2	東北電力株式会社女川原子力発電所の建物・構築物等の現地視察について (第6回会合配付資料「震基6-2」) (原子力規制庁安全規制管理官〔地震・津波安全対策担当〕)	写	H25. 1. 15	地震等基準検討チームが、発電用原子炉施設における安全対策への取組の実態を確認するため、東北電力株式会社女川原子力発電所の現地調査を実施したこと
乙第131号証 の3	浜岡原子力発電所における津波対策の実施状況について (第6回会合配付資料「震基6-3-1」) (中部電力株式会社)	写	H25. 1. 15	地震等基準検討チームが、発電用原子炉施設における安全対策への取組の実態を確認するため、電気事業者に対するヒアリングを実施したこと等
乙第131号証 の4	高浜発電所における津波対策の実施状況について (第6回会合配付資料「震基6-3-2」) (関西電力株式会社)	写	H25. 1. 15	同上
乙第131号証	耐震裕度向上対策の取組み	写	H25. 1. 15	同上

の5	状況について（第6回会合 配付資料「震基6-3-3」） （電気事業連合会）			
乙第131号証 の6	地下構造把握に関する取り 組み状況について（第6回 会合配付資料「震基6-3 -4」） （電気事業連合会）	写	H25.1.15	同上
乙第132号証	議事次第（第7回会合） （地震等基準検討チーム）	写	H25.1.22	地震等基準検討チームの検討 内容
乙第133号証	議事次第（第8回会合） （地震等基準検討チーム）	写	H25.1.29	同上
乙第134号証 の1	議事次第（第9回会合） （地震等基準検討チーム）	写	H25.3.13	同上
乙第134号証 の2	新安全基準（地震・津波） 骨子案に対する意見募集の 結果について（第9回会合 配付資料「震基9-2-1」） （原子力規制庁安全規制管 理官（地震・津波安全対策 担当））	写	H25.3.13	地震等基準検討チームが、意 見公募手続の結果も踏まえ、 基準地震動に係る具体的審査 基準案を取りまとめたこと等
乙第135号証	議事次第（第10回会合） （地震等基準検討チーム）	写	H25.3.22	地震等基準検討チームの検討 内容
乙第136号証	議事次第（第11回会合）	写	H25.4.2	同上

	(地震等基準検討チーム)			
乙第137号証	議事次第 (第12回会合) (地震等基準検討チーム)	写	H25. 4. 5	同上
乙第138号証	議事次第 (第13回会合) (地震等基準検討チーム)	写	H25. 6. 6	同上
乙第139号証	全国地震動予測地図手引・ 解説編2017年版 (地震調査研究推進本部地 震調査委員会)	写	H29. 4. 27	経験式がばらつきのあるデー タの平均であることを示した 上で「自然現象のばらつきや モデルの不確定性を考慮する 必要がある場合には、この点 に十分に留意して断層モデル を設定することが望まし い。」とされていること等